

**令和5年度 新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点研究領域公募）
における「研究開発提案書」の記載上の注意**

➤ 提出書類一覧

研究開発提案書	<p>以下を、①～⑫の番号順に一つのファイルにまとめ、<u>通しページ</u>を付して、PDFファイルとしてください。ファイル名は「1_研究開発提案書_研究代表者名」とし、e-Radの「応募情報ファイル」へアップロードしてください。</p> <p>※①～⑧は、令和5年度公募に係る資料に掲載のWordファイル（様式1）研究開発提案書_新規拠点または、Wordファイル（様式2）研究開発提案書_ネットワークコア拠点の書式をご利用ください。⑨は、令和5年度公募に係る資料に掲載のExcelファイル（様式3）ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式をご利用ください。⑩～⑫は、書式自由です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① （様式1または様式2） 研究開発提案書 ② 別紙1 提案時点の予定経費 ③ 別紙2 研究開発全体の内容の概要図 ④ 別紙3 実施体制図 ⑤ 別紙4 担当別 研究開発概要 ⑥ 別紙5 研究開発の主なスケジュール ⑦ 別紙6 その他審査に必要な項目 ⑧ （別添）要約（英文・和文） ⑨ （様式3）ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式（該当する場合は必須） ⑩ 動物実験に関する自己点検・評価結果（該当する場合は必須） ⑪ PMDAの対面助言の記録等（任意） ⑫ 海外研究拠点における共同研究の実績を証明する書類（該当する場合は必須）
---------	--

全般的な注意事項

- ・ 新規拠点に応募する場合は（様式1）を、ネットワークコア拠点に応募する場合は（様式2）を必ず使用してください。
- ・ 提出書類は、原則として日本語で作成してください。ただし、（様式1または様式2）研究開発提案書の末尾に添付している（別添）要約については、日本語と英語の両方での作成が必須となります。記載漏れなど不備がある場合は、審査対象外となることがあります。
- ・ 字数制限や枚数制限を定めている様式については、制限を守ってください。
- ・ 入力する文字のサイズは、原則として10.5ポイントを用いてください。
- ・ 英数字は、原則として半角で入力してください。（（例）郵便番号、電話番号、人数、金額等）
- ・ 提出書類は、下中央にページ番号を付与してください。

- ・ 提出書類の作成はカラーでも可としますが、白黒コピーをした場合でも内容が理解できるように作成してください。

研究開発提案書

➤ **提案書【表紙の表】**

- ・ 【研究開発課題名】は、ご自身の提案内容がわかる課題名を設定し、記載してください。
- ・ 採択可否の通知は、令和 5 年 10 月下旬（予定）に、研究開発提案書に記載の研究開発代表者住所宛てに郵送にて通知予定です。採択可否の通知前に連絡先が変更となる場合は、AMED 疾患基礎研究事業部疾患基礎研究課までご連絡ください。
- ・ 採択された場合には、研究開発代表者の【経理事務担当者 氏名】、【経理担当 部署（部局名）・連絡先等】へ、委託研究開発契約の締結に係る事務連絡をさせていただく予定です。

➤ **【研究組織（研究開発代表者及び研究開発分担者）】**

- ・ エフォートについては、公募要領「5.4.3 不合理な重複及び過度の集中の排除の方法」をご参照ください。

➤ **【「1 研究目的（様式 1）」または「1 目的、支援リソース（様式 2）」】**

- ・ 様式 1 または様式 2 の各項目に対応する内容をもらさず記載してください。図や表を用いても構いませんが、本項全体で指定されたページ以内に収めてください。
- ・ 特に独創的、革新的、新規性や優位性が高い部分には下線を引いてお示しください。
- ・ 様式 1 の「（3）研究開発期間中に何をどこまで明らかにするか」、または様式 2 の「1-1（3）目標、将来展望」には、具体的な目標を明確に記載し、目標が複数ある場合は項目を立てるなど記載をわかりやすくしてください。
- ・ 様式 1 の「（4）期待される成果」、または様式 2 の「1-1（3）目標、将来展望」には、直接得られる研究成果だけでなく、間接的に期待される新技術の創出、社会的な成果（行政及び社会への貢献、国民の保健・医療・福祉の向上等）についても記載してください。

➤ **【2 研究計画・方法】**

- ・ 「（1）要約（英文・和文）」は、（様式 1 または様式 2）研究開発提案書の最後に別添として添付してください。（本項目に直接記載することは不要です）

➤ **【3 研究業績】**

- ・ 本欄に記載する論文・著書の情報は、過去 5 年間のもの（2018 年以降）のみを記載してください。

➤ **【4 研究費の応募・受入等の状況・エフォート】**

- ・ 本欄は、**研究開発代表者**の情報を記載してください。（研究開発分担者の情報は記載不要）
- ・ **「（１）応募中の研究費」**
 - ✓ 「令和５年度の研究経費（直接経費）」枠には、現在応募中の研究費について、申請者（今回の提案で研究開発代表者となる者）の令和５年８月時点の申請者本人への配分予定額（直接経費）を記載してください。また、申請者が研究代表者として応募している研究費の場合には同枠の〔期間全体の額〕に、研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額)を記載してください。
 - ✓ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」枠の括弧内には、研究開発課題全体の直接経費の総額（期間全体）を記載してください（分担の場合には記載は不要です）。
- ・ **「（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）」**
 - ✓ 令和５年８月時点で引き続き受入れる予定の研究費と、既に採択が確定し受入れる予定の研究費について記載してください。
 - ✓ 「令和５年度の研究経費（直接経費）」枠には、申請者（今回の提案で研究開発代表者となる者）が、令和５年度に受給予定額を記載してください。代表者の場合には同枠の〔期間全体の額〕に、研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額(直接経費)(予定額)を記載してください。
 - ✓ 「研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由」枠の（）括弧内には、研究開発課題全体の直接経費の総額（期間全体）を記載してください（分担の場合には記載は不要です）。
- ・ **「（３）その他の活動」**
 - ✓ 令和５年度の予定について、申請者の年間の全仕事時間を100%とした場合の教育活動・所内事務・診療等の研究活動以外に費やすエフォート率を記載してください。
 - ✓ 「（１）応募中の研究費」、「（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）」、「（３）その他の活動」のエフォート率の合計が100%となるようにしてください。
- **【５ これまでに受けた研究費とその成果等】**
 - ・ 本欄は競争的資金、非競争的資金のいずれも記載可能です。
- **【６ 特記事項】**
 - ・ 記載する情報が無ければ、空欄で結構です。
- **【別紙】**
 - ✓ **別紙 1 提案時点の予定経費**
 - ・ 記載する金額は、（様式 1 または様式 2）の項目「各年度別経費内訳」及び項目「研究開発代表者及び研究開発分担者」と齟齬のないように記載してください。

- ・ 初年度の間接経費率については、原則提案時からの変更はできません。間接経費の記載については、代表機関および各分担機関の「契約・経理事務担当者」に確認した上で記載してください。

✓ **別紙 2 研究開発全体の内容の概要図**

- ・ モノクロ印刷されることを考慮して、写真等を貼り付ける際には濃度に注意してください。

✓ **別紙 3 実施体制図**

- ・ 別紙 3、4、5 は、記載内容が連動しています。別紙 4、5 と記載内容が整合するように記載してください（分担研究開発課題名等）。

✓ **別紙 4 担当別 研究開発概要**

- ・ 研究開発代表者及び研究開発分担者全員分を記載してください。
- ・ 別紙 3、4、5 は記載内容が連動しています。別紙 3、5 と記載内容が整合するよう記載してください。特に、「＜年度別 研究開発項目の達成目標＞」の記載内容は、別紙 5 の表中「研究開発項目」と整合するように記載してください。

✓ **別紙 5 研究開発の主なスケジュール**

- ・ 別紙 3、4、5 は記載内容が連動しています。別紙 4、5 と記載内容が整合するように記載してください。特に、「研究開発項目」に記載するマイルストーンは、別紙 4「＜年度別 研究開発項目の達成目標＞」と一貫するように記載してください。

✓ **別紙 6 その他審査に必要な項目**

- ・ 本欄は、研究計画の実施における連携協力体制および研究を行うにあたり配慮すべき事項等として必ず記載してください。
- ・ 【1. 関連学会等について】において記載枠が足りない場合には、適宜、枠を追加して記載してください。
- ・ 【2. 協力体制について】において、臨床研究を行う場合は、「1. 疫学・生物統計家の関与」の枠を必ず記載してください。
- ・ 新規拠点用の研究開発提案書には、「事業外の資金確保計画」について記載する項目がありますので、必ず記載してください。

➤ **(別添) 要約 (英文・和文)**

- ・ (別添) 要約は、必ず英文、和文の両方を作成してください。

➤ **ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式**

ヒト全ゲノムシーケンス解析を実施する場合、ヒト全ゲノムシーケンス解析プロトコル様式の

提出がない場合は、不受理とします。（公募要領 5.2 参照）

➤ **海外研究拠点における共同研究の実績を証明する書類**

新規拠点へ応募の場合は、現地機関と取り交わしたMOUのコピー等、海外研究拠点における共同研究の実績を証明する書類を、実績がある場合は提出してください。